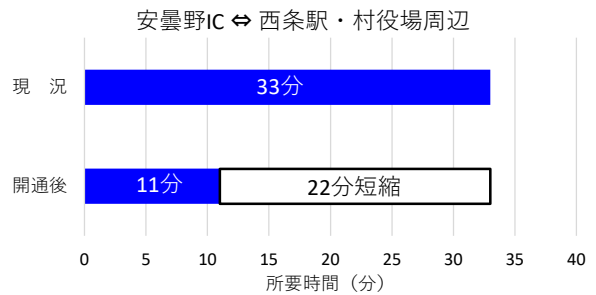
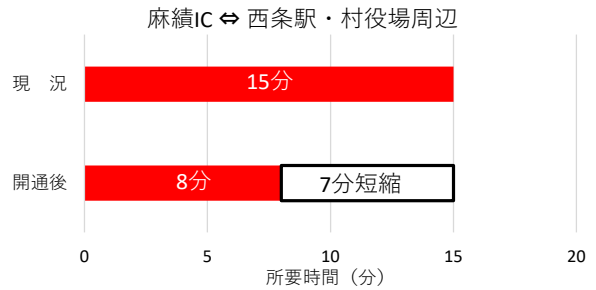
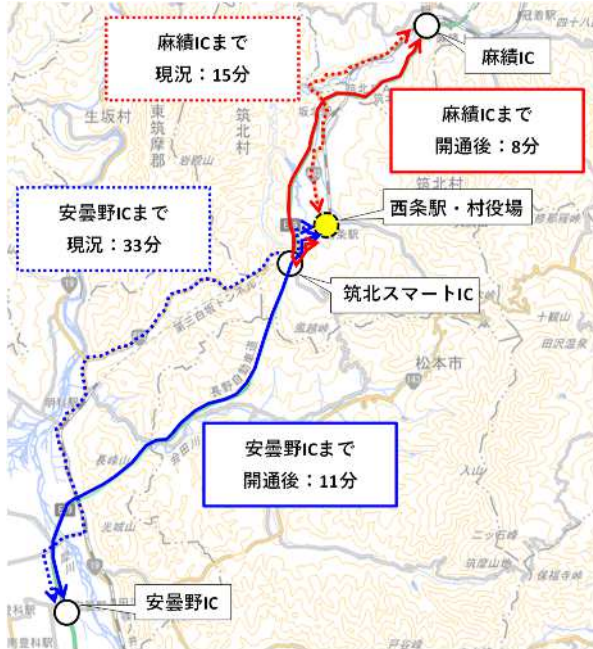


期待される整備効果

① 利便性の向上

長野道 安曇野IC～麻績IC間は約23.2kmあり長野県内の高速道路でIC間が最長区間となっています。筑北スマートICの開通により、安曇野IC～筑北スマートIC間が約14.2km、筑北スマートIC～麻績IC間が約9.0kmとなります。西条駅・村役場周辺から安曇野ICまでは整備前の33分から整備後は11分と22分短縮されるなど利便性が向上します。



② 地域工業の発展

筑北スマートIC周辺では遊休地を活用した工業団地の整備が新たに進められており、工業振興による就労の場の確保など地域経済の活性化が期待されます。



③ 地域農産物の支援

筑北村の名産品である西条白菜、キャベツ、ブロッコリー等を朝取り新鮮野菜として中京圏(松本)への出荷時間の短縮や、新たな地域への出荷の拡大が期待されます。



④ 地域防災機能の向上

災害時に救急活動及び物資輸送の要となる、周辺の地域防災拠点(村役場、物資輸送拠点、ヘリポート)へのアクセスが向上し、麻績ICとのアクセスと比べて筑北村役場までの移動時間が9分短縮します。また、筑北スマートICは、長野自動車道と国道403号との交点に位置し、リダンダンシーの確保にも繋がります。



	筑北村役場	筑北村防災公園
麻績IC	12分	11分
筑北SIC	3分	5分
短縮時間	9分	6分

凡例

- : 第1次緊急輸送路 (高速)
- : 第1次緊急輸送路 (他)
- : 第2次緊急輸送路
- ⬜(役) : 防災拠点 (役場)
- ⊙(物) : 防災拠点 (物資輸送拠点)
- ⊙(ヘ) : 防災拠点 (ヘリポート)

地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsis.jp/>)をもとに、筑北村が加工

⑤ 交流人口の増加と観光周遊性の向上

筑北スマートICから「西条温泉とくら」「立峠石畳跡」へ5分程度でアクセスできるようになり、麻績ICからのアクセスに比べて半分以下の時間になるなどアクセス向上が図られ、交流人口の増加や観光周遊性の向上につながります。



地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsis.jp/>)をもとに、筑北村が加工

立峠石畳